



夏休みは研修の宝庫！！

子どもたちが待ち望んでいた夏休みもすでに半分以上が過ぎようとしています。海に山にと、子どもたちは夏休みを謳歌していることでしょう。真っ黒に日やけをしながら体と心がぐんと成長するのも夏休みです。それぞれの夏休み後半の挑戦を大人達が厳しくも温かく見守り応援していきたいものです。

さて、先生方而言えば、「研修」が目白押しです。普段はなかなか教室を離れづらいのですが、夏休みともなれば、子どもたちのため先生方もたくさんの研修に参加し研鑽を積んでいます。教育センターも先生方の要望を聞く中で、今年もいくつかの研修会を開催してきました。

スタートを切ったのは、**カウンセリング講座**でした。

1回目の7月23日には24名の先生方の参加をいただき、中央公民館1階ホールに於いて、富士河口湖町教育相談員であり、甲斐清和高校及び駿台甲府高校のスクールカウンセラーの**川辺修作先生**に「**子どもたちの人間関係を育む対人ゲーム**」について、お話を伺い演習を行いました。対人関係ゲームの意義と実施する上で配慮することを学習した後、先生方全員でたくさんのゲームを体験しました。特別な道具はなく、すべて手軽に始められるものばかりです。しかし、ゲームを通して意図されたものは大きく「連携能力・調整能力・人と折り合い自分と折り合う能力・人間関係のトラブルを解決する自信」等が期待されています。それぞれの学級を思い浮かべながらも童心に返って(?)、学習を進めることができました。



二学期を待ち遠しく思った先生方でした。

2回目は8月3日でした。ここでも18名の先生方が参加してくださいました。講師の健康科学大学福祉心理学科准教授の**瀧口綾先生**より「**障害のある児童生徒の理解と対応の仕方**」についてのお話を伺いました。今回は各校の支援員の先生方も多く参加されました。先生より学習障害の種類と特徴を教えていただいた後、それぞれの障害に応じた支援例を提示していただきました。その際に、心がけることは「肯定的かつ明確な指示」「スモールステップ」そして、「褒めること」です。そこには、目の前の子ども達の自尊心を高め、クラスの他児との関係作りの向上という狙いがあるのです。具体的な支援の形が見えた研修会となりました。

